

ガ

バナー・エレクトトとしての初仕事である「国際ロータリー第二五四〇地区・

地区チーム研修セミナー」が男鹿温泉・セイコグランドホテルで開催された。初仕事と言えば語弊があるかもしれない。既にガバナー・エレクトト研修や国際協議会、地区幹事会を含めた各種会議や地区内ロータリークラブの周年記念式典や壮行会などでエレクトトとしての挨拶などをしていり、地区運営方針を起案している。しかし、地区内のロータリアンを対象とした行事となれば、初仕事である。

地区チーム研修セミナーは、次年度のガバナー補佐、地区委員長を対象にして、ガバナー・エレクトトが地区運営方針を発表し、協力を仰ぐとともに、ガバナーを中心に一丸となって地区運営をしようと結束を促す機会である。国際ロータリーの二〇一〇、一一年度のテーマは「地域を育み 大陸をつなぐ」であり、我が二五四〇地区のテーマは「ロータリーをENJOYしよう!」である。国際ロータリーの年次テーマを織り込みつつ、地区の運営方針を打ち出したものであるが、ガバナーの考えを反映しているものであり、ガバナー年度を通してぶれの無いもので無ければならない。

今回の研修では、ガバナー挨拶に始まり、ガバナー・エレクトト挨拶、そして国際協議会

数値目標



(二〇一〇・〇三・一四)

報告と二〇一〇、一一年度の地区運営方針を発表する。ついで、直前ガバナーが務める研修リーダーによるガバナー補佐、地区委員長に対する職務の説明と心構えが伝えられる。しかし今年度は、講義スタイルに止まらず、出席者からの積極的な意見や質問を受けようとの試みが追加され、フリーディスカッションとして休憩を挟み、合わせて二時間がこれに当てられた。フリーディスカッションといっても、発言の殆んどが、ガバナー・エレクトトに対する質問に答えるものであり、地区運営方針の中に書き込めなかつたガバナー・エレクトトとしての思いを伝えるしかない。

今年度の地区運営方針に発表した数値目標は、唯一「ロータリー財団への、『あなたも一〇〇\$を』推進しよう」だけである。研修リーダーは、これがお気に召さないように、他の数値目標はないのかと何回も質問された。しかし、国際協議会でも「ポリオプラスに幾ら」、「会員増は何人」と聞かされていないのだから、伝えようがない。目標数字をあげれば、それを強制・義務と感じ、反発も出てくるだろう。方針を理解していただき、クラブが自主的に目標を作るほうが、実質的に効果があがると思うのだが、如何なものでしょう。私は一〇〇%の支持が欲しいのですが。(ドデシタ)